

はじめに

静岡市は、山間地を中心に茶畑が広がる全国有数の茶産地であり、全国からお茶が集まるお茶の集散地です。また、静岡市民の緑茶の購入数量は全国平均の2倍以上であり、お茶の消費が盛んなまちでもあります。

しかしながら、平成10年代半ばより若者のお茶離れ、茶価の低迷、生産者の高齢化、担い手の減少、そして、耕作放棄茶園の増加等、茶業を取り巻く環境は年々厳しさを増していきました。

このような背景の中で、平成20年に「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」が制定され、それを受けて策定した「静岡市茶どころ日本一計画」をもとに、静岡市をお茶のまちとしてブランディングすることを戦略の柱としたお茶のまちづくり、茶業の振興を進めてまいりました。

この計画は、概ね100年後の目指す姿を示す基本構想、10年スパンの基本的な考え方を示す基本計画、3年スパンの具体的な行動計画である実施計画で構成され、今年度は計画施行から5年を経ることから、これまでの進捗状況や近年の茶業情勢、社会環境の変化等を踏まえ、基本計画の見直しを行いました。

見直しにあたっては、第3次静岡市総合計画や静岡市農業振興計画との整合を図りつつ、お茶の消費拡大を更に推進することと、全国、世界に向けて「お茶のまち静岡市」の情報を積極的に発信していくことを一層重視しました。

静岡市民にとって、あまりにも身近で当たり前を感じられるお茶ですが、改めてお茶が育む価値を見直し、茶業の振興はもとより、お茶を通じた豊かな市民生活を育み、次世代に受け継いでいけるよう、市民、茶業者、行政が一体となって「世界中のだれもがあこがれるお茶のまち」を目指していきましょう。

計画の見直しにあたりまして、ご意見をお寄せいただいた市民の皆様をはじめ、静岡市茶どころ日本一委員会及び静岡市お茶のまちづくり推進協議会の委員の皆様、関係機関・団体の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成27年3月

静岡市長 田辺信宏

目次

はじめに

[第1章] 序論

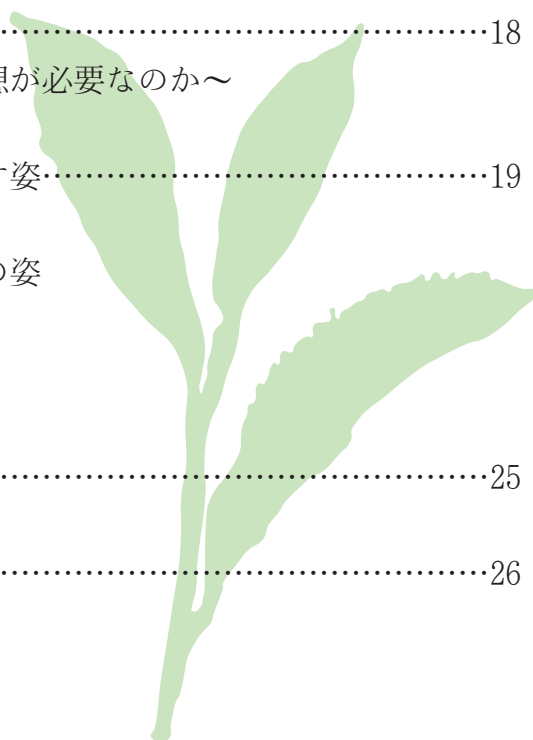
第1節	計画の背景	1
1	静岡市お茶のまちづくり宣言	
2	静岡市めざせ茶どころ日本一条例	
第2節	計画の概要	3
1	計画の名称	
2	茶どころ日本一計画とは	
3	計画の目的	
4	計画のフレーム	
第3節	お茶を取り巻く内外環境の変化	4
1	静岡市におけるお茶の歴史	
2	静岡市のお茶の現状と課題	
3	市民の“お茶のまち”への思い～市民意識調査結果より～	
4	静岡市のこれからの動き	
5	踏まえるべき社会経済環境の変化	

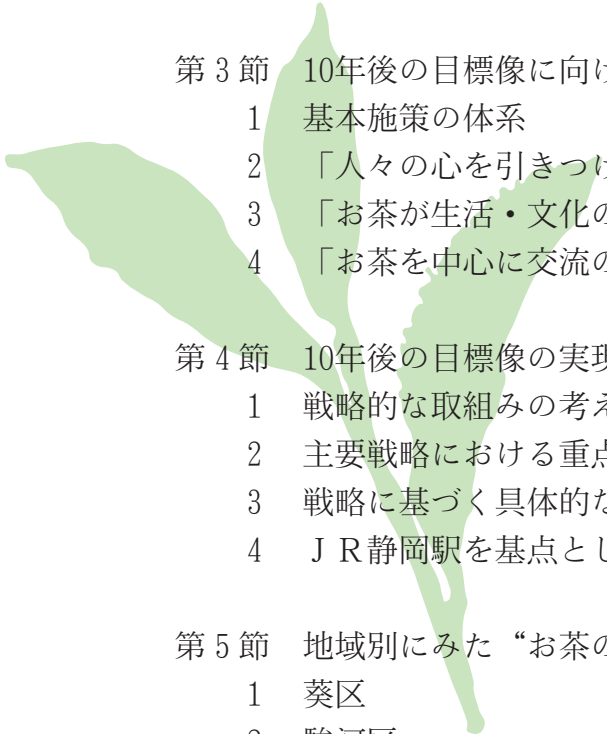
[第2章] 基本構想

第1節	お茶のまち100年構想	18
	～今、なぜ百年もの長期構想が必要なのか～	
第2節	「お茶のまち静岡市」のめざす姿	19
1	お茶のまちづくりの理念	
2	めざす「お茶のまち静岡市」の姿	
3	将来像に向けての基本方向	

[第3章] 基本計画

第1節	計画づくりの視点	25
第2節	10年後の目標像及び目標指標	26
1	10年後の目標像	
2	10年後の目標像に向けた指標	





第3節	10年後の目標像に向けた基本施策の体系	30
1	基本施策の体系	
2	「人々の心を引きつけるお茶をつくるまち」に向けて	
3	「お茶が生活・文化の一部となり心やすらぐまち」に向けて	
4	「お茶を中心に交流の輪が広がるまち」に向けて	
第4節	10年後の目標像の実現に向けた戦略的な取組み	42
1	戦略的な取組みの考え方	
2	主要戦略における重点方策と展開方向の考え方	
3	戦略に基づく具体的な展開イメージ	
4	J R静岡駅を基点とした「イメージ戦略」を軸とした展開	
第5節	地域別にみた“お茶のまち”	50
1	葵区	
2	駿河区	
3	清水区	

【第4章】 推進体制

第1節	推進体制	54
1	推進体制の姿	
2	静岡市茶どころ日本一委員会	
3	静岡市お茶のまちづくり推進協議会	
4	静岡市茶どころ日本一計画推進会議	
第2節	社会実験事業の展開	54
◇	お茶のまちづくりに向けた行動指針	56

【資料編】

◇	静岡市茶どころ日本一委員会	
◇	静岡市お茶のまちづくり推進協議会	
◇	静岡市茶どころ日本一計画推進会議	
◇	静岡市茶どころ日本一計画基本計画見直しの経過	
◇	静岡市めざせ茶どころ日本一条例	
◇	「静岡市茶どころ日本一計画」で使用している言葉の説明	

= エピローグ =